

要 望 書

苫小牧市商店街振興組合連合会

要望書

1 市商連への財政支援について

新型コロナウイルス感染症もようやく第5類に引き下げられ、人々の生活は徐々に平常時に戻りつつあります。感染拡大からこれまでのご支援に対し感謝申し上げます。連合会としては、この3年間の経験を経て“地域コミュニティの担い手、”として商店街の果たす役割の重要性に鑑み、昨年度14年ぶりに復活した『全市連合大売出し』を今後も継続して開催していきたいため、一般事業補助金を要望致します。

2 駅前中心街の再生について

旧サンプラザビルが閉鎖してから9年余りが経過しておりますが、未だ解決に至っておりません。千歳市にはラビダスが進出し近隣市町村にも波及効果が期待される中、苫小牧市の顔である駅周辺再生が急務となっております。更に2026年度には待望の市民ホール完成に伴い、駅から市民ホールまでの賑わい創出の核として旧サンプラザビルの解決が大きく影響すると考えられますので、この問題の早期解決を要望します。

3 地域商店街の要望について

- (1) シンボルストリートはバリアフリー化の整備路線として建設されました。しかし、30年以上経過し歩道の劣化及び歩道タイルブロックの損傷が著しい箇所があります。歩行者が安全に通行するために支障のない歩道の整備並びにタイルブロックの改修を要望したところ、『苫小牧都市再生コンセプトプラン』と連携した再整備との回答をいただきましたが、現状のままが続くと近い将来に市民が転び、怪我をしてもおかしくない状況になっていますので再度要望します。

【駅前通商店街・駅通中心商店街】

- (2) ときわ町と澄川町の間を通る双葉3条通り（バイパス）は地域の中心道路であり地域住民や子ども達が多く利用する通りですが、歩道部分が暗すぎるため防犯面でも商店街の活気という側面からも決して良い状況とは言えません。ここの歩道部分に街路灯（防犯灯）を設置していただくよう苫小牧市から北海道に要請していただくことを要望します。 【ときわ・澄川商店会】

(3) 苫小牧市内の各地商店街は、今後の社会的役割を変化していかなければならない時代になったと考えます。これまでの商工振興だけでなく、自らが地域の潜在的な可能性を観光資源として開発していかなければ『加速化する少子高齢化・人口流出』に対応できません。しかしながら、観光資源となり得る規模の大きなイベントには相応の予算が掛かります。そこで『苫小牧市イベント・環境整備等助成金事業』の項目(3)(4)(8)(9)に関して、上限額を引き上げていただきたく要望します。【勇払商工振興会】

令和5年11月14日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧市商店街振興組合連合会

理事長 長山 愛一郎

